

新型コロナ感染 急拡大 どう抑えこむ？

感染拡大が止まりません。ところが政府はなんの対策もとらず、自治体まかせ。国民には“旅行や帰省は自分でよく気をつけて”というだけです。



感染震源地での集中検査を政府に申し入れる志位和夫委員長(中央)と田村智子政策委員長=7月28日、内閣府

エピセンター
「**感染震源地**」に住む人、働く人すべてを対象に

PCR検査の 抜本的強化を

感染力をもちながら無症状の人たちが繁華街などに集まり、知らず知らずに感染を広げ、「感染震源地」となって、さらに県をこえて拡大——いまの感染急拡大の仕組みです。震源地で働く人、住む人すべてを対象にしたPCR検査を実施し、感染者を見つけ出すことが急務です。

日本共産党

目的は「無症状でも感染力もった人」の発見

“感染力の有無”をはっきりさせる——これがPCRの集中的検査の目的です。感染で問題になるノドや鼻のウイルスを正確にキャッチできるからです。症状はないが感染力の強い人を見つけ出して保護することが、感染拡大を抑えこむいちばんのカギです。

休業要請は補償とセットで

協力金20万円で短縮営業を(東京都)——これでは1カ月分の家賃にも足りず、商売がたちゆきません。要請をする以上、損失を公的に補償するのは当然です。

国会ひらき、すぐ対策の検討を

